

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	産業経済部		
	課名	産業振興課		
	係名	商工振興係		
	記入者		電話(内線)	217

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称	商工業振興事業				(3) 事業の 優先度	A		
(4) 総合計画での位置づけ					(6) 事業主体		市				
① 事業の区分	主要事業					(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)			
② 施策コード	32102		(総合計画掲載ページ 92 ページ)				会計区分	一般会計			
基本目標(政策)	3		歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)				財源区分	市単独			
基本施策	2		ものづくりと創造の力を育む工業の振興(工業)				予算科目	款 7		項 1	目 3
施策			地域産業の振興				予算書上の	商工業振興事業費			
施策内容			中小企業経営の支援				事業名称	(予算書 127 ページに掲載)			
(5) 事業期間					(8) 事務分類						
	開始		31	年	4	月から	根拠法令	中小小売商業振興法、伝統的工芸品産業の振興に関する法律			
	終了			年		月まで (力年)					

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)
市内事業者(商工会議所、結城紬関係団体含む)	・イノベーションによる生産性の向上、新技術・新産業の創出の強化 ・市内商工業者の振興 ・個性あふれる地域産業の育成(技術向上・後継者育成) ・本場結城紬のPRのため、H29に向けパンフレットを作成(増刷)する
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
・結城紬大使PR活動謝礼 ・企業学習会の開催 ・伝統工芸技術習得材料費の負担 ・伝統工芸関係団体への負担金支出(伝統的工芸品産業振興協会・全国和装産地市町村協議会・県伝統的工芸品産地交流促進事業負担金) ・各団体に対する補助金支出 ・住宅リフォーム資金に対する補助 ・本場結城紬PRのため、パンフレットを作成	・中小企業相談事業補助については、組織の機能強化を目的に、商工会議所内の中小企業相談所で実施される経営改善普及事業に対する制度である。その他団体への補助は、団体が実施する事業に対する支援制度である。 ・伝統産業を保持する各市町村ではパンフレットを作成している。小山市でも結城紬のパンフレットを作成しており、本市同様に多言語版を作成予定。
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
・補助を受けている地場産業(結城紬・桐製品)の団体については、経営悪化や後継者不足が深刻な問題となっている。 ・本市の地場産業については、衰退傾向がみられる。	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映	
実施計画							
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）	
事業内容		26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	
(1) 事務事業費	報償費	80	160				
	旅費		197				
	需用費	57	72				
	役務費	0	15				
	使用料及び賃借料		27				
	原材料費	493	493				
	負担金補助及び交付金	21,856	24,437				
	貸付金	5,000	5,000				
	合計	27,486	30,401				
	財源	国庫支出金（千円）	1,290	2,500			
県支出金（千円）							
地方債（千円）							
その他特定財源（千円）		5,000	5,000				
一般財源（千円）		21,196	22,901				
合計（千円）		27,486	30,401				
補助・起債制度名		・社会資本総合整備 交付金・貸付元金	・社会資本総合整備 交付金・貸付元金				

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）				指標の名称	単位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）										
指標名	補助金及び負担金を支出した事業	目標値	数		10	10	10	10		
		実績(見込)値		10	10					
	結城紬大使	目標値	人		8	8	8	8		
		実績(見込)値		8	8					
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）										
指標名	市内企業の振興(工業出荷額)	目標値	億円		2,000	2,100	2,200	2,200		
		実績(見込)値		1,956	2,000	2,000	2,000	2,000		
		達成率		88.9 %	90.9 %					
	市内企業の振興(商品販売額)	目標値	億円		1,200	1,250	1,300	1,300		
		実績(見込)値		1,170	1,200	1,250	1,300	1,300		
		達成率		90.0 %	92.3 %					
5. 事業評価										
(1) 平成26年度の行政評価結果をうけて、平成26年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。 ・補助団体に対し、成果及びコスト向上に向けた指導を行った。										
(2) 項目別評価										
評価項目・客観的評価				理由						
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	結城紬は市が世界に誇る地場産業だが現在は衰退しており、それら関連団体が事業を続けていくためには、市からの補助は必要であり、必要性は高いと言える。						
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	市内事業者育成の観点から、行政が実施すべき事業である。						
	手段の妥当性	B	どちらとも言えない	各団体には、実施事業に対して補助金を支出しているが、現状に大きな変化はなく、団体に対する補助の有効性の面から考慮するとどちらとも言えない。						
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	地場産業については、団体補助を行っているものの、大きな改善が見られないことから、どちらとも言えない。						
公平性	受益者の偏り	B	どちらとも言えない	地場産業が主となっており、市内事業者全体としてはどちらとも言えない。						
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	地場産業については、後継者問題の改善を考えるとどちらとも言えない。						
進捗度	事業の進捗	A	順調である	各団体とも事業計画に対し、事業成果をあげている。						
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。 本市では、事業の補助により各団体の活動を支援しているが、地場産業の後継者不足や生産数(販売数)の減少が深刻な問題である。										
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？ 各団体には、将来を見据えた事業計画及び運営を図るよう働きかけ、商工業の振興を図る。 また、地場産業の結城紬に関しては、産業としての成立が厳しい状況にあるが、世界に誇る伝統文化であり、全国の和装産地と連携し、市内他産業とも連携しながら、伝統産業の復興を図る。										
6. 事業の方向性判断										
評価主体		27年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠					
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)			注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。					
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)			各団体には、更なる現状把握と分析を図り、将来を見据えた事業展開ができるよう働きかけ、結城紬や桐製品等は、本市の伝統産業であることから、今後も支援は継続し、商工業の更なる振興を図っていく。					
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う					上記評価のとおり。					